

2013年度公式戦スケジュール・結果

■高円宮杯 2013 ホッケー日本リーグ

期間：2013年4・5・9・12月

会場：山梨(山梨学院ホッケースタジアム) 奈良(親里ホッケー場) 岐阜(岐阜県グリーンスタジアム)
東京(法政大学多摩キャンパスホッケー場) 島根(三成公園ホッケー場)

節	日	期間	会場	試合開始	対戦相手	試合結果
第1節	第1日	4月13日(土)	山梨	14:50	レギュラーシーズン 山梨学院OCTOBER EAGLES	○5-1
	第2日	4月14日(日)	山梨	11:40	レギュラーシーズン 立命館大学ホリーズ	●0-1
第2節	第3日	4月27日(土)	奈良	14:50	レギュラーシーズン 天理大学ベアーズ	○4-0
	第4日	4月28日(日)	奈良	11:40	レギュラーシーズン 福井クラブ	○8-2
第3節	第5日	5月3日(金・祝)	岐阜	13:20	レギュラーシーズン 東京農業大学	○10-1
	第6日	5月4日(土)	岐阜	13:20	レギュラーシーズン 小矢部RED OX	○6-1
第4節	第7日	5月11日(土)	東京	14:50	レギュラーシーズン 法政大学	○3-0
	第8日	5月12日(日)	東京	11:40	レギュラーシーズン 診療印刷	○3-1
第5節	第9日	9月7日(土)	島根	11:30	レギュラーシーズン 岐阜朝日クラブ	○7-0
	第10日	9月8日(日)	島根	13:20	レギュラーシーズン Selrio島根	○4-3
第6節	第11日	9月21日(土)	岐阜	13:20	レギュラーシーズン ALDER飯能	○2-1
	第13日	12月21日(土) ※会場の都合により変更	岐阜	13:00	準決勝戦 岐阜朝日クラブ	
プレーオフ	最終日	12月22日(日) ※会場の都合により変更	岐阜	11:00	3位決定戦 準決勝戦敗者 vs 準決勝戦敗者	
			岐阜	13:00	決勝戦 準決勝戦勝者 vs 準決勝戦勝者	

■第34回東海ブロック大会兼第68回国民体育大会東海地区予選・東海北海道ブロック代表決定戦

期間：2013年8月11日(日)、18日(日)

開催地：静岡/長泉町竹原グラウンド 愛知/庄内緑地陸上競技場

日	大会名	会場	試合結果	対戦相手
8月11日(日)	東海ブロック大会 決勝	静岡	愛知(名古屋フラーテル) ○3-0	岐阜県
8月18日(日)	東海北海道ブロック代表決定戦	愛知	愛知(名古屋フラーテル) ○14-0	北海道

■男子第55回全日本社会人ホッケー選手権大会

期間：2013年9月14日(土)~9月18日(水)

開催地：長崎/長崎県立佐世保青少年の天地プレイグラウンド
川棚大崎自然公園交流広場

日	試合結果	対戦相手
9月15日(日)	2回戦 名古屋フラーテル ○1-0	福井クラブ
9月16日(月・祝)	準々決勝 名古屋フラーテル ○8-0	滋賀クラブ
9月17日(火)	準決勝 名古屋フラーテル ○7-0	岩手クラブ
9月18日(水)	決勝 名古屋フラーテル ○4-1	箕島ホッケークラブ

■第68回国民体育大会ホッケー競技

期間：2013年10月1日(火)~10月6日(日)

開催地：東京/日野市民陸上競技場 浅川スポーツ公園グラウンド

日	試合結果	対戦相手
10月2日(水)	1回戦 愛知(名古屋フラーテル) ○4-0	香川県
10月4日(金)	準決勝 愛知(名古屋フラーテル) ●1-2	鹿児島県
10月5日(土)	三位決定戦 愛知(名古屋フラーテル) ○4-0	埼玉県

■第87回全日本ホッケー選手権大会

期間：2013年11月28日(木)~12月1日(日)、12月7日(土)~8日(日)

開催地：埼玉/飯能市阿須ホッケー場

期日	試合時間	対戦相手	試合結果
11月29日(金)	12:50	予選リーグ 朝日大学	
11月30日(土)	12:50	予選リーグ 岩手クラブ	
12月1日(日)	12:50	予選リーグ 天理大学	
12月7日(土)	11:00 13:00	準決勝 B組1位 VS A組2位 A組1位 VS B組2位	
12月8日(日)	11:00	決勝 準決勝勝者 VS 勝者	

※大会情報、試合結果等には細心の注意を払っておりますが、念のため、主催者の発表と照らし合わせの上ご確認ください。



●発行元：特定非営利活動法人愛知スポーツ倶楽部 ●発行人：神戸 勝
●事務局：〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目2-11 ナビタ名灯ビル
●編集人：安井妙子 ●監修：永井東一 ●愛知スポーツ倶楽部HP：<http://www.aichisportsclub.com/>
●メール：info@aichisportsclub.com ●名古屋フラーテルHP：<http://www.frater.or.jp/>

©AICHI SPORTS CLUB ©NAGOYA FRATER HOCKEY TEAM
この冊子に掲載されている全ての情報(文字、写真、イラスト等)及び全体は編集著作物として著作権の対象となります。許可無く引用・転載複製を行うことを禁じます。

次号Vol.21は
2月頃発行予定

全日本選手権大会結果
日本リーグプレーオフ結果
企業紹介

...etc



FRATER FAMILY ONLY for MEMBERS

<http://www.frater.or.jp/>



Vol.20



FRATER FAMILY

■2013年度GAMEプレビュー

■広報・交流プロジェクト

■ホッケー普及プロジェクト

■Japan NEWS

■MESSAGE FROM OFFICE

■2013年度公式戦スケジュール

Vol.20
2013.12

ONLY for MEMBERS



第6節 2013年9月21日(土) VS ALDER飯能 (岐阜・岐阜県グリーンスタジアム)



名古屋フラテル
ホッケーチーム 2 {前半 2-1} 1 ADLER飯能
{後半 0-0}

リーグ戦最終戦となる第10戦の相手は、毎度緊迫した試合となるALDER飯能との対戦。フラテルは序盤からペースを握り、開始10分に獲得したPCから#20大野がフリックシュートを決め、幸先良く先制する。17分には、#3粥川がサークル内に打ち込んだヒットを#4小野が華麗にタッチシュートで決め、2-0とし、飯能を更に突き放す。対する飯能も果敢にフラテル陣内に攻め込み、28分に得点を決め、2-1で前半を折り返す。後半フラテルは試合のペースを上げて追加点を狙うが、PC等再三訪れたチャンスは飯能GKの好セーブに阻まれる。その後は、両チーム共に決定的なチャンスを演出できず、2-1でフラテルが勝利。これによりフラテルはレギュラーシーズン11試合を10勝1敗勝点30、第1位の成績でプレーオフに進出する。



写真提供: ALDER飯能

Road to RIO!
Japan NEWS

東アジア大会銀メダル
第3回アジアチャンピオンズトロフィー準優勝

秋以降も引き続き、国内大会、国際大会と休む間もなくフル回転で活動している男子ホッケー日本代表サムライジャパン、2013年10月5日に東京国体を終えて、成田空港へ直行、中国・天津にて開催される東アジア大会に参戦しました。東アジア大会は、夏季オリンピックの翌年に4年に1回開催されてきましたが、今後はユース世代の国際大会として移行することが決まり、今回が最後の開催です。選手は日本オリンピック委員会の派遣により参加し、全24競技が行われました。ホッケー競技参加国は、韓国、中国、香港、日本の4カ国、日本は決勝へと駒を進めるも韓国に1-2で力一歩及ばず、銀メダルでの帰国となりました。

今年最後の国際大会は、数少ないホームゲーム。自チームのレベルを推し量るには絶好の機会となりました。初日のマレーシア戦は1点を争うシーソーゲーム。試合終了間際にカウンターから劇的ゴールを決め、大事な初戦を白星で飾りました。雨の中行われたインド戦はチャンスで確実に得点を重ね勝利に結びつけました。中国戦は疲労から黒星を喫しましたが、オマーン戦で勝利、続くパキスタン戦をドローに持ち込み、決勝進出。優勝を賭けてパキスタンと再戦するが惜しくも敗戦、しかし過去最高成績の2位で大会を終えました。

来年9月に開催されます、アジア大会では、今回不参加の強豪韓国をはじめ、パキスタンやインドに勝たなくてはオリンピック出場権を獲得する事は出来ません。決して楽な道のみではありませんが、まだまだ成長を続けるサムライジャパンに期待が高まります。皆様どうぞ応援よろしくお願いします。

アジアチャンピオンズトロフィー試合結果

- 【予選リーグ】
11月2日(土) ○日本 1 - 0 マレーシア●
3日(日) ○日本 2 - 1 インド●
5日(火) ●日本 1 - 3 中国○
7日(木) ○日本 4 - 0 オマーン●
8日(金) △日本 2 - 2 パキスタン△

【決勝】
11月10日(日) ●日本 1 - 3 パキスタン○



広報・交流プロジェクト

PICK UP!!
名古屋市小学生
とホッケー交流



名古屋トップスポーツチーム
連絡協議会設立!

昨年より打合せやイベントを重ね、2013年11月12日(火)に名古屋市を拠点として活動する12のトップチームと名古屋市、公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会との間で、「トップスポーツチーム連絡協議会(仮称)」が発足しました。スポーツに親しむ機会を設け、スポーツチーム・行政が一体となって、名古屋を活性化していくことが目的です。

そして、11月24日(日)に、この協議会の活動の一環として、昨年より開催されている「スポーツライフin瑞穂」(愛知県名古屋市・瑞穂運動場)というイベントの中の、「トップアスリートとともにスポーツにチャレンジ」へトップチーム8競技8チームの1つとして、参加してきました。子どもたち(市内小学生)がこの8競技から選択した3競技を体験するイベントです。



1セッション45分間で、計3セッション、延べ120名の子どもたちがホッケーを体験しました。ホッケーを知っているという子は若干名いましたが、実際に体験するのは全員が初めて。ルールや注意点の説明に始まり、選手によるデモンストレーション、グループごとに選手指導の下、基本スキルの練習、最後はゲームといった内容です。ゲームでは出来るだけ多くボールに触れてもらおうと、ボールを1個ではなく、臨機応変にボールを次々と増やしていく変則ルールとしました。子どもたちは6分×3ゲームの間、夢中になってボールを追い必死にプレーする姿はとてほろりとしていました。名古屋フラテルは今後もホッケー競技の普及、地域社会貢献活動に努めてまいります。

ホッケー普及プロジェクト

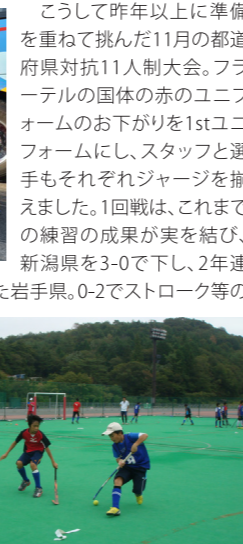
目指せ!
明日の日本代表選手!

活動3周年!
愛知選抜ホッケーチーム
めざせ全国ベスト8!

愛知県内の地域クラブの中学生を取りまとめた、ホッケー普及活動である「中学生プロジェクト」が無事3年目を迎えました。今年、11月の全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会に向けて、チームワークの向上を図るため、選抜チームを組むことになる名古屋国際中学校との合同練習を4月よりスタート。3月、7月の2回にわたり、毎年の恒例行事となりつつある山梨開催のシャトレゼカップに参戦し、試合感覚を身につけました。10月には、恵那にあるスケートリンク内のフットサル場を利用して強化合宿を実施。練習後には会場から宿舎までの8キロのランニングに加え、食育に関する講義や、ホッケーのルールに関するディスカッション等を行う中で、ジュニアアスリートとしての在り方を問いかける活動も行いました。



こうして昨年以上に準備を重ねて挑んだ11月の都道府県対抗11人制大会。フラテルの国体の赤のユニフォームのお下がりをして1stユニフォームにし、スタッフと選手もそれぞれジャージを揃えました。1回戦は、これまでの練習の成果が実を結び、新潟県を3-0で下し、2年連続で初戦突破。2回戦は、今大会ベスト4に名を連ねた岩手県、0-2でストローク等の基本技術や状況判断力など、実力の差を見せつけられた試合となりました。しかし、年々チーム力は着実に上がっています。また、勝利する事の喜びや、喜びを分かち合える仲間存在の大ききにも、選手は気付き始めていると思います。そして、このプロジェクトの参加者で、高校でもホッケーを続けよう道を探る子どもたちも出てきました。



東京国体 1回戦 2013年10月2日(水) VS 香川県 (東京・日野市民陸上競技場)



愛知県 4 {前半 1-0} 0 香川県
{後半 3-0}

4連覇を狙う東京国体の初戦の相手は、三菱化学ホッケーチーム単独の香川県。愛知は、ロングボールや細かいパスワークなどを使い、攻撃を仕掛けていく。開始8分#3橋が豪快なリバースヒットシュートを決め、1-0とする。14分にも#12吉原がチャンスを作るが、GKの堅守により、これは追加点に繋げることができない。前半終了間際にはPCを獲得するがこれも決まらず、1-0で前半戦を終える。後半戦に入ると、愛知が優勢ではあるものの、香川はカウンター攻撃で応戦し、一進一退の攻防が続く。そして、54分PCから#4小野が冷静に追加点を決めると、これを皮切りに59分#5長澤、67分#3橋が、立て続けにPCから得点を奪い、4-0とする。このまま試合は終了し、愛知県は準決勝へと駒を進めた。



東京国体 準決勝 2013年10月4日(金) VS 鹿児島県 (東京・日野市民陸上競技場)



愛知県 1 {前半 1-2} 2 鹿児島県
{後半 0-0}

準決勝の相手は、昨年の国体でも初戦で対戦した鹿児島県。学生を中心の構成である。鹿児島は序盤からスピードを活かし、フラテル陣内に攻め込む。そして、9分左サイドから打ち込まれたボールをタッチシュートで決められ、先制を許す展開となる。愛知は19分#3橋がGKを好判断で交わすと、強烈なヒットシュートでゴールネットを揺らし、試合を振り出しに戻す。このまま愛知ペースで進むかと思われたが、24分鹿児島に再びロングボールからタッチシュートを決められ2-1と勝ち越されて前半を終了。後半、愛知はコートを広く使って縦横無尽にパスホッケーを展開していくが、鹿児島は粘り強い守備を崩せない。幾度となく獲得したPCも決め切れず、1-2で準決勝敗退。4年連続22回目の優勝を逃してしまい、三位決定戦に臨むこととなった。



東京国体 三位決定戦 2013年10月5日(土) VS 埼玉県 (東京・日野市民陸上競技場)



愛知県 4 {前半 1-0} 0 埼玉県
{後半 3-0}

3位決定戦の相手は、ALDER飯能や診療印刷、駿河台大学の選抜チームである埼玉県。積極的な攻撃を展開する愛知に対し、埼玉は堅い守備で対抗する。愛知は速攻やPCで多くのシュートチャンスを得るも、パスミスや埼玉GKの好セーブにより得点を挙げることができない。しかし、前半終了間際の32分愛知のPCから#12吉原のリバースヒットに#11川上啓が反応し遂に先制、愛知の1点リードで前半を終える。後半に入っても愛知はチャンスを物にできず、苦しい時間帯が続く。試合が動いたのは48分、#3橋がドリブルからゴール左上にヒットシュートを決めると、61分には#10山部が追加点を挙げ3-0とする。試合終了間際には再び#3橋がタッチシュートを決め、4-0で勝利し3位で東京国体を終えた。(なお荒天により決勝は中止、鹿児島県・京都府の両優勝。)



MESSAGE FROM OFFICE

ホンダロジコム株式会社(川上良平選手勤務先)

情報と物流技術を通じて社会に貢献する、ホンダロジコム株式会社。
自動車部品の物流事業を軸に、物流/ノウハウを活かしてさまざまなニーズに応える総合物流会社です。

ホッケー同様、人前でのスピーチも堂々たるものです。川上選手!

当社では経営企画室に在籍をして教育や採用に携わる業務を行なっています。教育では研修資料の作成や研修で行なった試験の採点やアンケート結果のまとめなど事務的な業務を行い、採用では合同説明会で使用するポスターの制作。また入社式等の人前で話をする時には社会人としてだけでなくアスリートという立場でも話をしてもらっています。

現在の業務内容は日々同じ作業をするだけではなく場合によって大きく異なる為に切り替えがとても重要ですが、臨機応変に対応して経営企画室をしっかりとバックアップしてもらっています。

ファイト! 川上良平選手!!

フラテル、ホンダロジコムともに今年2年目のシーズンを毎日厳しい練習と仕事をこなしながら過ごしていますが、そろそろ自分の立ち位置と役割が見えてきたと思います。どちらももうワンランク上のレベルアップを期待しています。そして当社の中でもホッケーという競技の認知はすこずつ高くなってきていますから更なる活躍でチームを盛り上げていってほしいです。今シーズンの締めくくりである全日本ホッケー選手権大会では最高の結果になるように応援しています。これからの活躍を期待しています。がんばれ!!



【本多数社長(中央)・本社スタッフと共に】

川上選手の多忙な日々



ホワイトボードでスケジュールの調整中



集計作業もそつなくこなす